

I 目的

大分県のキャリア教育について、現状を把握するとともに実践事例を収集及び周知することで、キャリア教育に関する県教育センターにおける研修の充実を図り、大分県の更なるキャリア教育の推進に資する。

II 結果

※2年次は、1年次の課題としてあげられた、①「キャリア教育について十分な理解を図ること」、②「学級活動・ホームルーム活動(3)等のキャリア教育に関する具体的な実践事例の収集及び周知」、の2点を受け研究協力校での実践事例の収集を軸に研究を進めた。

○キャリア教育研修について

・課題①への対応として、テーマ別研修を新設・実施した。「研修内容に対して理解が深まったか」という項目に対しては受講者評価が3.7/4であった。キャリア教育の目的や意義などについては概ね受講者の理解は得られたが、キャリアノートの活用や手立て、校種間連携のやり方について疑問点を残す受講者も見られた。

○実践事例について

・課題②の対応として、臼杵市立臼杵南小学校・南中学校、大分県立大分豊府中学校・大分豊府高等学校を研究協力校とし、実践収集を行った。

○学校組織としてのキャリア教育の取組について

・臼杵南小学校ではキャリア教育推進計画を作成し、年間のカリキュラムの中にキャリア教育を位置づけている。育成を目指す能力(担任の思い)を設定し、これまで取り組んできた様々な活動とキャリア教育とのつながりを整理し、計画的にキャリア教育を進めている。(右図参照)

○キャリアノートについて

・南中学校では、総合的な学習を中心に学校独自のキャリアノートを作成し短期の振り返りを記録として重ね、学級活動の時間に学期ごとや学年ごとの長期での振り返りとしてそれらを大分県版キャリアノート上にまとめている。
・大分豊府中学校では、各学年毎にポートフォリオを作成し、いつでも自分の立てた目標や振り返りを確認できるように学級内に掲示をし、最終的にキャリアノートに貼ることで記録をためている。また、それらをもとに生徒と教師が個人面談を実施している。

○学級活動・ホームルーム活動(3)について

・臼杵南小学校では、小学校6年生が2学期末に「学習や生活・出会いや行事を振り返り、何を学んでどのように成長できただろうか。」という課題設定のもと、大分県版キャリアノートを使ってこれまでの取組を振り返った。生徒一人ひとりが、他者との関わりを通して自分の成長の把握と自己理解を進めることができています。



III まとめ

●キャリア教育研修の充実

調査研究を通して得た事例を、キャリア教育に関するテーマ別研修や、初任者研修に還元し、キャリア教育研修の充実に資する。

●学級活動・ホームルーム活動(3)等のキャリア教育に関する具体的な実践事例の収集及び周知を行うこと

キャリア教育の大切さは分かっているが、学校現場においてその具体的なイメージを持つことができていない状況が考えられるため、次年度も引き続き研究協力校での実践事例を収集し、そこで得た内容をセンターでの研修に還元し、キャリア教育の充実を図る。

